

東播磨

明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町

さらっとVision

第6号

東播磨地域ビジョン情報誌

CONTENTS

- ★ 実践活動グループの取組を紹介
- ★ 東播磨地域夢会議を開催しました
- ★ 山陽電鉄西新町駅内覧会へ参加しました
- ★ ズームアップ!
加古川市長と播磨町長を表敬訪問
- ★ きらっとコラム
～「ビジョン活動」が花咲くときを夢見て～



▲子ども論語教室(尾上幼稚園)



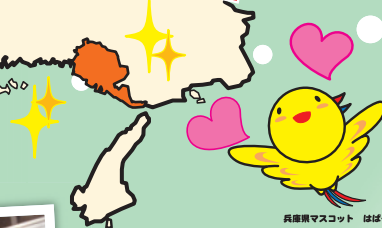
▲地産地消料理教室



▲らくがくサロン・講習会

HIGASHI-HARIMA VISION

AKASHI
KAKOGAWA
TAKASAGO
INAMI
HARIMA



兵庫県マスコット はばタン



▲東播磨子ども観光大使(日岡山公園)



▲高校生対象ものづくり探訪会
(神戸製鋼所加古川製鉄所)



▲水辺に学ぶプロジェクト・海浜植物の保全

人

活動

地域

この団子は、地域の活動においては、「人と人」「活動と活動」「地域と地域」を団子のように串刺しにして、繋ぐことが大切、ということを示しています。

第7期1年目を振り返って2年目に繋ごう

第7期東播磨地域ビジョン委員会 委員長 平山 彰

平成26年4月にスタートした第7期東播磨地域ビジョン委員会は、73名で構成されています。第7期1年目は、西播磨地域ビジョン委員会との合同研修会を新たに企画しました。他地域に出かけ、交流を深めつつ、研修で学ぶ県下でも初めてのスタイルで、お互いの連携を図る有意義な活動の一つになりました。また、東播磨地域夢会議では、多くの皆さんと役割分担し、従来の反省を生かしながら、意味のある内容を検討してきました。当日は、限られた時間の中で、充実した議論を展開できました。

2年目は、第7期の集大成となるように、東播磨地域ビジョン委員会の認知度を高め、厚みのある活動にし、第8期へのバトンタッチも意識しながら楽しく活動しましょう。今後とも多くの皆さんのご協力を従来以上にお願います。

実践活動グループの取組を紹介

「豊かな水辺を守り、生かす東播磨づくり」、「人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり」をめざして、多様な活動を展開しています。

ネットワークで地域連携支援 グループ：ハートランドぐり石ネット

平成27年3月22日(日)、「ボランティアの井戸端会議」を開催しました。毎年、東播磨のボランティア団体と協働し開催している名物行事です。

今年度は阪神淡路大震災から20年であることを直視して「守れますか？ 自分の命と家族の命を!!」をテーマに、加古川市消防本部消防長と、第一線の現場で働く女性消防士から、災害発生時の行動について話を聞き、次にグループに分かれて、災害の対応を「クロスロードゲーム」を用いて考えることを防災士のリードで体験しました。

グループの人たちの発表を聞くと、「そんな考え方もあるのか」、「正解は一つではないんだな」とまさに目から鱗が落ちる会議でした。

▼クロスロードゲームの様子



東播磨の豊かな水辺を守り伝える グループ：水辺に学ぶプロジェクト

▼津波対策の取り組みを語る会



平成27年6月24日(水)、加古川総合庁舎で、「津波対策の取り組みを語る会」を開催しました。今後30年以内に70%の確率で南海トラフ巨大地震が発生すると想定されるからです。

講師の加古川土木事務所上窪政広港湾課長が、県の津波防災インフラ整備計画を説明の上で「津波の前に震度6強の地震がある。日頃の防災意識が大切」と話され、活発な質疑応答が交わされる等、参加者の津波への関心の高さが伝わってきました。

東播磨 農業の夢と創造 グループ：Agri Dream & Creation

▼じゃがいも収穫祭



平成27年6月21日(土)、加古川市西神吉町で「じゃがいも収穫祭」が開催され、まちの人・地域の人・JA職員・大学生等約230名が参加しました。年ごとに参加者が増加しています。

また、翌週には、「地域防災・減災推進グループ」が主催する防災避難訓練に法華山谷川水系上・下流域の自治会と農業者約120名が参加して実技と講習により防災・減災意識を高めました。

併せて、上流域の農地で栽培した「じゃがいも」「たまねぎ」の販売が好評で、流域の連携と交流に大きな効果を発揮しました。

▼防災避難訓練



東播磨地域夢会議を開催しました

平成27年3月22日(日)、「聞かせて!あなたの“ビジョン”、語ろう!地域の“ビジョン”」をテーマに、加古川総合庁舎において東播磨地域夢会議を開催しました。当日は、128名の参加者の方々と地域づくりについて意見交換を行いました。

セッション1 東播磨地域における地域活動の事例発表

明石高専教育・研究プロジェクト支援室の佐伯亮太さんと「まちかどミュージアムを成功させる会」代表の遠藤由美子さんから、取り組まれている地域活動について紹介をしていただきました。参加者からは、「地域住民の巻き込み方がわかった」と取組手法を参考にすることができ、好評でした。



明石高専の取組発表



「まちかどミュージアムを成功させる会」の取組発表

セッション2 グループディスカッション

6つのテーマに分かれて、グループディスカッションを行いました。
①地域の防災・減災、②青少年の育成、③地域でのネットワーク、地域の活性化、④豊かな水辺づくり、⑤地産地消の推進、⑥ものづくり産業の推進



▼グループディスカッションの様子

セッション3 グループ発表&講評

専門委員の相川 康子(特活)NPO政策研究所専務理事をコーディネーターに、各グループが発表を行い、井戸敏三兵庫県知事がコメンテーターを務めました。

グループ発表では、「自主防災組織の活性化・広域連携」「子育て世代の居場所づくり」「水辺の学び場づくり」「中高生のものづくり体験学習」等、今後のビジョン活動の方向性を示す様々なアイデアが提案され、共有することができました。



▼井戸知事コメント

井戸知事は、「ものづくりの楽しさを子ども達に知ってもらえれば、県内の企業へ就職してくれ、人口流出が抑えられるのではないかな」等、テーマごとにコメントされました。

参加者からは、「地域の交流・活性化に取り組んでいる状況が良くわかった」「自分を知り、人を知り、コミュニケーションをしっかりと結びたい」「今後も夢会議に参加したい」等の意見をいただきました。

山陽電鉄西新町駅内覧会へ参加しました

平成27年6月14日(日)、兵庫県・明石市・山陽電気鉄道㈱の主催による「山陽電車西新町駅内覧会」が開催されました。地域住民の代表としてビジョン委員会から4名が参加しました。軌道ウォーク及びポイント切替実演では、私たちが高架の軌道敷きが一番に降り立ち、真新しい軌道敷きの感触を確かめました。また、明石市議会議員や地元自治会・商店街会長といった参加者へも当委員会のビジョン委員の制度や趣旨を説明する機会があり、今後の協力を確認し合いました。

社会基盤づくりの充実は、東播磨地域ビジョンの実現に向けた取組の柱でもあります。より安全なまちづくりに向けて、これからも着実に整備が進められることを期待しています。



▼山陽電鉄西新町駅・軌道敷内

ビジョンスポークスマン活動の一環として、ビジョン委員会の取組への理解を広めるため、東播磨地域の市町長を表敬訪問しています。

○平成27年1月14日(水)、岡田康裕加古川市長を表敬訪問し、加古川市の地域資源の掘り起こし等について、意見交換をしました。



加古川市長にビジョン活動を説明

○平成27年3月27日(金)、清水ひろ子播磨町長を表敬訪問し、ビジョン委員会と播磨町の協力・連携について、意見交換をしました。



播磨町長との意見交換

今後も、各市町長への表敬訪問を続け、ビジョン委員会の取組を普及啓発していきます。

きらっとコラム ～「ビジョン活動」が花咲くときを夢見て～

2015年春、加古川市の権現ダム第4公園に小さな桜86本がさやかに咲きました。ソメイヨシノ、枝垂れ桜、八重桜、蝦夷彼岸桜等多くの種類があります。これらは、第5期のビジョン委員が百数十本植えて生き残った桜です。この桜が大きくなり銘木になるには、これから30年から50年は必要でしょう。

ビジョン活動では、「今、輝くこと」が重要です。一方で、東播磨で将来にわたって継続することを目的に地道に活動を進めていくことも大切なのではないのでしょうか？ 50年後に、この桜をビジョン委員が植えたことと記憶している人はいないかも知れません。

しかし、できることをコツコツと地道に行動で示すことがビジョン活動の基本だと思います。皆さんはどのように思われますか。



権現ダムに咲く桜

【東播磨地域ビジョン委員 佐々木 功】

東播磨地域ビジョン委員会 facebook でビジョン委員会の取組を随時発信!



ご覧いただいた方は、ぜひ「いいね!」を押してください。

Facebook 東播磨地域ビジョン委員会

検索

情報コーナー Information

BAN-BANラジオ (FM86.9MHz) 「谷五郎のはりまーるラジオ」に月1回ビジョン委員が出演しています。

毎月第3木曜日19時30分から放送中!
(再放送は翌土曜日9時00分から)